

子どもの問題 支援システムプロジェクト

東京学芸大学の総合的な“子ども応援力”のUP!

平成24年に文部科学省が発表した小中高等学校を対象にした調査結果(平成22年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査)によると、暴力行為の発生件数は約6万件、いじめの認知件数は約7万8千件、自殺した児童生徒は156人とあり、学校では様々な問題がおこっています。

東京学芸大学では、平成22年度から文部科学省の支援を受け、「スクールソーシャルワークを活用した<子どもの問題>支援システムプロジェクト」を開始しました。本プロジェクトでは、「スクールソーシャルワークのフィールド研究」「総合相談窓口」「教員養成カリキュラムへの還元」という3つの柱を中心に取り組んできました。その成果を報告します。

スクールソーシャルワークのフィールド研究

スクールソーシャルワーカーの派遣

小金井市の教育委員会と連携し、市内の小中学校へスクールソーシャルワーカーの派遣を行っています。期間は、2010年11月～2013年3月(継続中)です。

学校に入り、教職員やスクールカウンセラーと連携しながら、子どもと家庭への支援をおこないます。学校だけでは支援が難しい問題に対しては、子ども家庭支援センターや医療機関など他機関との協働で支援体制をつくります。



総合相談窓口

「気がかりな子に対してどうやって支援したらいいの?」

「子育てや教育に不安がある・・・」

「家族にどうやって働きかければいいのか?」

などの悩みに対して、専門の教員が電話やメールで相談に応じる、<子どもの問題>総合相談窓口を設置しています。現時点での相談者は保護者や教師などが中心です。

“学習はどうしたらいいか”、“子どもとどのように接したらいいか”といった相談が寄せられています。

窓口はこちら>TEL:042-329-7378 URL: <http://www.kodomopj.com/medioguchi/index.php>



公開研究会・公開フォーラム開催

スクールソーシャルワークに焦点をあてながら<子どもの問題>についてとその支援方法を模索するために、さまざまな子ども支援に携わっている実践家や研究者の方々の協力を得て、3回の公開研究会と1回の公開フォーラムを開催しました。

第1回公開研究会	子どもを中心とした総合的な支援を目指して
第2回公開研究会	スクールソーシャルワークは今へ地域にみあった子ども支援とは～個人情報保護と多職種連携～多職種によるチームアプローチ・情報共有と個人情報保護・実践事例を聞いた後編～
公開フォーラム	学校における子ども支援のあり方～アメリカの実践に学ぶ～ 生体指導とスクールソーシャルワーク ～生体指導担当とスクールソーシャルワーカーの連携～
第3回公開研究会	子どもの貧困～教育現場にもたらすものと子ども支援～



参加者の声

- ・スクールソーシャルワークの実践を聞くことができてよかったです。非常に勉強になりました。
- ・スクールソーシャルワーカーの存在を、はじめて知りました。地域との協力も含めて、スクールソーシャルワーカーをうまく使ったしくみを考えたいと思います。
- ・教員もよく学んでいく必要があると感じました。スクールソーシャルワーカーのものの見方、考え方が学校現場に浸透していくことで、学校が変わる(教育力が上がる)のかもしれない。
- ・学校で実際に働いている人の話で、子どものニーズ把握と問題解決に向けた社会への活動について聞ける機会がなかったのとても貴重でした。
- ・教員側からもスクールソーシャルワーカーからも社会に対する要求(支援体制の整備、予算)は多く、自発的な行動なくては進まないことを改めて感じました。

教員養成カリキュラムへの還元

教員を目指す学生やスクールソーシャルワーカーを目指す学生に、スクールソーシャルワーカーの仕事を知ってもらうため、視覚教材としてブックレットとDVDを作成しました。

スクールソーシャルワーカー紹介ブックレット

ブックレットでは、イラストを使用しながら事例や夜を添え、スクールソーシャルワーカーの仕事のわかりやすく紹介しています。

- ・子どもの問題とは
- ・スクールソーシャルワークの位置づけと役割
- ・スクールソーシャルワーカーの一日
- ・マンガで見るスクールソーシャルワーカーのしごと
- ・事例にみるスクールソーシャルワーカーのしごと
- ・スクールソーシャルワーカーと関わった方からのコメント



視覚教材 スクールソーシャルワーカー紹介DVD

DVDでは、スクールソーシャルワーカーとして活動している方の一日を追うことで、スクールソーシャルワーカーの仕事をもっと具体的に知ることが出来ます。

映像には、校内巡回の様子や、ケース会議の様子、子どもと関わっている様子などが含まれています。また、校内だけではなく、子ども家庭支援センターへの訪問、家庭訪問の様子も収録されています。さらに、図を使用し、スクールソーシャルワーカーの役割や支援の流れを説明しています。

本DVDは、スクールソーシャルワーカーの紹介のみならず、学生の講義等に使用することにより、スクールソーシャルワーカーの養成、スクールソーシャルワーカーと連携して子どもをサポートできる教員の養成に役立てられます。



[本件に関する詳細・お問い合わせ先]

東京学芸大学
<子どもの問題>支援システムプロジェクト
〒184-8601 東京都小金井市真井北町4-1-1
TEL: 042-329-7378
FAX: 042-329-7378



ホームページ
<http://www.kodomopj.com/>